

来月の消費予報

2月の冷え込みから一転。 春を迎え、季節消費が高まる兆し

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

3月の消費意欲指数は46.9点で、前年同月比+1.0pt。過去最低値だった前月から+5.4ポイント上昇しました。

3月の消費意欲指数



↑ 前月比 **5.4** ポイント

↑ 前年同月比 **1.0** ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇 ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(3月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。※詳細は4ページ

カテゴリー別 消費意欲



★ UP : 前年同月比で20人以上増加 ● DOWN : 前年同月比で20人以上減少

「来月(3月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。 ※詳細は4ページ
2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

3月のポイント

Point 1 : 女性を中心に、3月としては2年ぶりに季節消費が高まる気配

2015年以降、3月の消費意欲指数は前年割れが続いていましたが、2年ぶりに前年同月比がプラスとなりました(2014年4月の増税後初)。消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「春物衣料が欲しい」という声の前年の倍以上(16年3月32件→17年3月82件)となったほか、「旅行の予定がある」という人も増加しています(16年3月17件→17年3月31件)。

また、「特に買いたいモノ・利用したいサービス」でも、「ファッション」「旅行」「外食」「食品」の4項目において、前年同月から20人以上増加しています。季節の変わり目を迎え、消費を楽しもうとする気持ちが高まっている様子がうかがえます。

なお、消費意欲の高まりは女性層で顕著(前月比+7.4ポイント)で、前述の「春物衣料が欲しい」「旅行の予定がある」といった声は女性を中心にあがっています。3月は女性を中心に、前月までのセーブ意識から解放される月となりそうです。

Point 2 : ただし、増税前の「消費の山」といえるレベルには達していない

2013年、14年には、3月は50点を超える消費の山(12月~1月、3月、7~8月)のひとつでしたが、2015年、16年は2月の落ち込みからの回復はするものの、消費の山と言えほどには高まりませんでした。

【増税前】2013年3月 50.3点(前月比+5.1ポイント)、2014年3月 53.8点(前月比+5.2ポイント)

【増税後】2015年3月 46.3点(前月比+2.0ポイント)、2016年3月 45.9点(前月比+2.6ポイント)、2017年3月 46.9点(前月比+5.4ポイント)

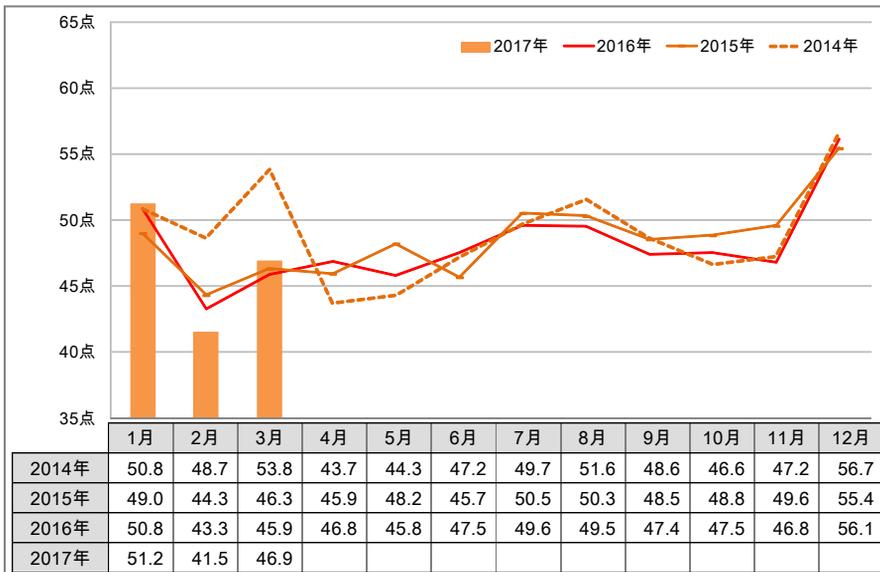
今年の前月からの上昇幅(+5.4ポイント)は増税前のレベルとなったものの、指数そのものは2016年を少し上回る程度にとどまっています。今年は消費の山が、前年に引き続き年末年始のみとなるのか、7~8月にも山が訪れるのか、今後の動向を見守りたいところです。

消費意欲指数

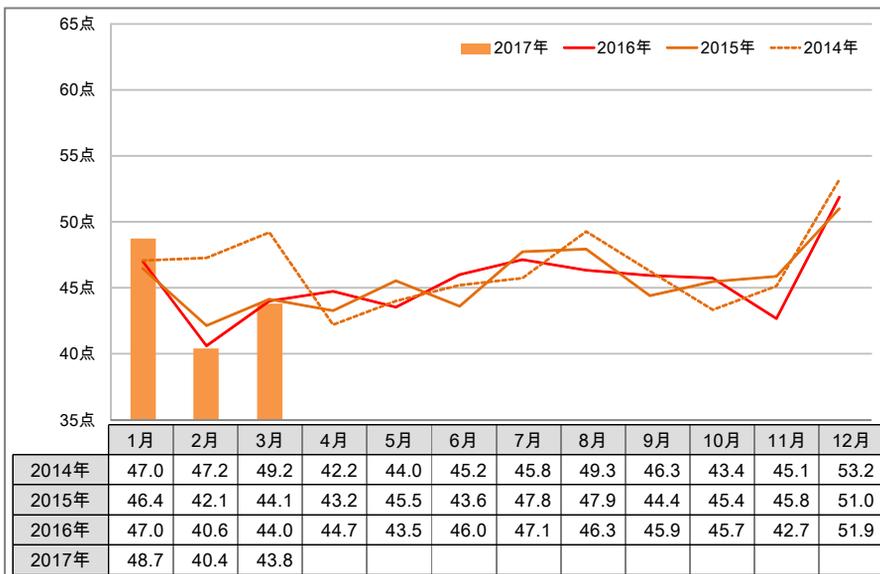
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(3月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

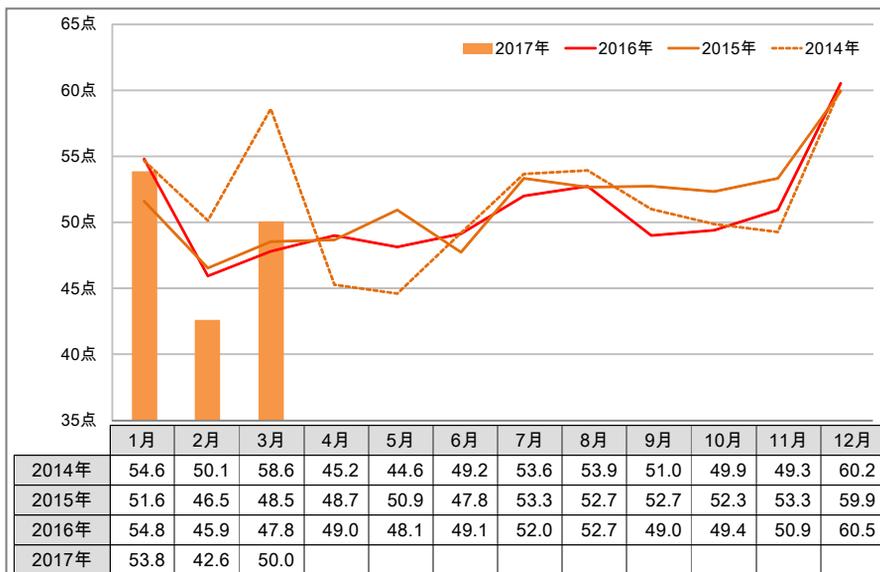
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【春物衣料が欲しい】

- ・好きなアーティストのCDの発売がある。また、春に向けてコスメや服を新調したいと思っている(80点・女性23歳・埼玉県)
- ・春物のセールがある自分用と、子どもの服を買いだめしたいと思っているから(80点・女性31歳・愛知県)
- ・洋服を春物に替えたり、野菜などがおいしくなる季節でもあるので、冬より買い物が多くなる機会があると思うので(70点・女性41歳・愛知県)
- ・春になり暖かくなることが予想されますので行動を起こしたくなります。また、衣替えもします。そうすると、ファッション関係の物を購入したくなります(90点・女性53歳・神奈川県)
- ・春用の服や靴がほしいから(80点・女性63歳・大阪府)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【旅行の予定がある】

- ・普段は半分を切るが、3月はアメリカにも行くために消費意欲が湧くと思う(75点・女性20歳・愛知県)
- ・3月は両親の還暦の祝いに旅行に行く計画をたてているから(100点・女性31歳・大阪府)
- ・国内旅行を計画しており、旅先でのアクティビティや買い物等を考えているため(90点・男性48歳・東京都)
- ・旅行にお金を使いたい(60点・女性53歳・愛知県)
- ・趣味の旅行は外せなくも予約済み。物は余り欲しくなく、今はただ知らない地や良い場所に行くことが一番の消費(60点・女性67歳・千葉県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(3月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2017年3月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	27.8	+6.0	+2.5
男性	25.6	+6.7	+1.7
女性	30.1	+5.4	+3.5

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(417人)

参考:男性(193人)

参考:女性(224人)

順位	カテゴリー	3月(人数)	前年同月比
1	ファッション	220	+25
2	旅行	167	+38
3	食品	156	+22
4	外食	155	+20
5	書籍・エンタメ	113	+7
6	飲料	110	+15
7	レジャー	100	+7
8	化粧品	99	+18
9	理美容	97	+10
10	家電・AV	86	-12
11	日用品	73	+6
12	装飾品	71	+11
13	パソコン・タブレット・周辺機器	55	-15
14	インテリア用品	54	+3
15	スマートフォン・携帯電話	46	+11
16	車・バイク	26	-2

順位	カテゴリー	3月(人数)	前年同月比
1	旅行	78	+17
2	ファッション	72	+5
3	書籍・エンタメ	59	+9
4	食品	55	-3
5	外食	52	-4
6	家電・AV	51	-13
7	飲料	46	+4
8	レジャー	42	±0
9	パソコン・タブレット・周辺機器	40	-13
10	スマートフォン・携帯電話	32	+5
11	車・バイク	24	+3
12	装飾品	23	+1
13	日用品	22	+3
14	理美容	20	+2
15	インテリア用品	19	-3
16	化粧品	5	-6

順位	カテゴリー	3月(人数)	前年同月比
1	ファッション	148	+20
2	外食	103	+24
3	食品	101	+25
4	化粧品	94	+24
5	旅行	89	+21
6	理美容	77	+8
7	飲料	64	+11
8	レジャー	58	+7
9	書籍・エンタメ	54	-2
10	日用品	51	+3
11	装飾品	48	+10
12	家電・AV	35	+1
12	インテリア用品	35	+6
14	パソコン・タブレット・周辺機器	15	-2
15	スマートフォン・携帯電話	14	+6
16	車・バイク	2	-5

<全体にのみ下記基準で色付け>

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

■ : 前年同月比で20人以上増加

■ : 前年同月比で20人以上減少

※2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(3月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(3月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	158	185	136	155	756
女性	116	154	179	134	161	744
合計	238	312	364	270	316	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2017年2月2日(木)～6日(月)(2012年4月から調査開始/毎月月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・酒井) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2017-03/>)からダウンロードしていただけます